

再び日本が人気の旅行先に ～シンガポール国際旅行フェア NATAS Travel2014 に参加しました～

自治体国際化協会シンガポール事務所（以下 CLAIR）は、2014 年 2 月 28 日（金）から 3 月 2 日（日）まで、「NATAS Travel 2014」の日本パビリオン内ビジットジャパンブースにおいて、日本政府観光局（JNTO）シンガポール事務所と連携し、観光 PR を実施しました。昨年 8 月の「NATAS Holidays2013」では、日本がフェア期間中の人気旅行先第 2 位となり、訪日旅行意欲の回復が見られたシンガポールですが、それから半年の間にどう変化したのか報告いたします。

1. シンガポールの訪日旅行状況

JNTO が実施した旅行代理店への聞き取り調査によると、訪日旅行商品を大規模に取り扱う旅行代理店 8 社のうち 6 社が、前回の NATAS に比べ販売額が増加したと回答しました。また、NATAS 主催事務局の発表した国別渡航先ランキングでは、前回の NATAS と同様に日本はヨーロッパに次ぐ 2 位となり、訪日旅行商品の売れ行きは好調でした。

2013 年に日本を訪れたシンガポール人は推計値で 189,200 人となり、2012 年比 33.1%増、2010 年比 4.5%増で過去最多を記録しました。国・地域別の訪日客数ランキングでは第 9 位となっています。航空会社の座席供給量の増加、円安、中部・九州・沖縄などの新規デスティネーションの露出拡大による旅行商品選択肢の増加、JNTO が航空会社などと実施した共同広告の効果などが訪日シンガポール人増加の背景であると見られています。特に 2012 年同期と比べおよそ 20%進んでいる円安は最大の追い風であるとされ、JNTO は「お得な日本」を全面に出し、Expedia、Zuji などオンライン旅行予約サイトと連携したプロモーションを展開しています。

シンガポール現地紙は「シンガポール人が日本に再び押しよせている」という見出しで、現地旅行会社の「2013 年は訪日旅行が完全に回復した年だ。シンガポール人は日本を訪れる自信を回復した。」というコメントを紹介しています。その旅行会社の日本行きパッケージ商品は 2012 年と比較して売上げが 2 倍となっているとのこと。訪日需要が高まった主な要因は円安によって下がったツアー料金であるとされ、都市部から離れた地域（沖縄、白川郷など）の人気の高まっていることも合わせて紹介されています。（2013 年 12 月 27 日 THE STRAITS TIMES 「Singaporeans flocking to Japan again」より）

2. 日本パビリオンにおける観光 PR

日本パビリオンには 18 団体が出展しており、そのうち自治体・関連団体は、北陸国際観光テーマ地区推進協議会、阿蘇ジオパーク推進協議会、松本観光コンベンション協会、公益社団法人北海道観光振興機構、九州観光推進機構、東海地区外国人観光客誘致促進協

議会、茨城県、山国紀行、新潟市、和歌山県、東北観光推進機構/仙台市の 11 団体でした。

シンガポール航空が 3 月 30 日から現在 1 日 2 往復で運航するシンガポールー羽田線を 1 往復増やし 3 往復とすることを記念して、日本パピリオンにシンガポール航空の東京行き航空券を持参した来場者にサンリオピューロランドの入場券を 1 日先着 100 人にプレゼントしていました。ハローキティとの記念撮影も行われ人気を集めていました。

今回初めて参加した茨城県は、今年度から台北、シンガポールの旅行フェアに参加しています。シンガポールの旅行フェアの印象として、旅行商品を購入するために来場する客に地元をアピールするのは非常に効率が良いと感じたとのこと。来場者は、花を楽しめるひたち海浜公園、偕楽園やフルーツ狩りの情報に大変興味を示したそうです。NATAS 出展に先立ちシンガポール及び日本国内の旅行会社にセールスをしたところ茨城県内の観光地をまわるツアーが商品化され、NATAS 会場内で販売されていました。来年度は、マレーシア、タイ、シンガポールの旅行フェアに出展を予定しているそうです。



茨城県のブース

3. シンガポール人訪日旅行目的・ニーズ

CLAIR の職員は、ビジットジャパンカウンターにおいて来場者からの問い合わせに対応しました。訪日旅行を検討している人は日本で何を楽しみにしているのか、人気の旅行先はどこかなど来場者の声を御紹介します。

■日本の桜が見たい

今回の NATAS では、桜の見ごろに合わせて訪日旅行を検討している人が目立ちました。「4 月の中旬頃に行くが、どこに行けば桜が見られるか。」「東京、大阪ではいつ頃が桜の見ごろか。」という質問を多く受けました。桜の名所やおおよその開花時期をまとめたパンフレットを作成している自治体もあり、非常に喜ばれていました。

■今日本を訪れることにした理由

円安は訪日旅行を決定する際にどの程度影響しているのか確かめるため、来場者に今なぜ日本を訪れることにしたのか聞いてみました。予想に反して円安のため日本に行くことにしたと答える人は少なく、「日本に行ってみたくから」、「〇〇が見たいから」と回答する人がほとんどでした。JNTO が実施した航空会社や旅行会社との共同広告、10 月～12 月にかけて放送された女性をターゲットとした訪日旅行番組の放送等により日本の露出が増加していること、円安により訪日旅行商品価格が下がったために旅行会社の主力商品として取り扱われ、日本を目にする機会が多くなっていることなど様々な要因があるのだと

思われます。

■リピーターが求めること

既に日本を訪れたことがある人が多く、「東京、大阪、北海道は行ったことがあるので、次のおすすめの場所を教えてほしい」、「前は冬に雪景色を見たので、今度は違う季節に行ってみたいなど、季節や土地によって異なる日本の景色や食に魅了されている人が多い印象を受けました。訪日リピーターが多く、個人旅行が主流のシンガポールでは、地域の魅力をわかりやすく伝えることができれば誘客につながる可能性が高いといえます。ビジ



ジャパンパビリオン



世界各国の観光地を表した NATAS の看板(日本は富士山)

ットジャパンカウンターで接客した印象では、シンガポールでは見られない大自然（特に山の景色）、子供と楽しめるテーマパーク、四季折々の花や紅葉に惹かれる人が多いようです。一方で、前回日本に行った時に困ったこととして、Wi-Fi 環境が整っていないこと、交通費が高いことなどが挙げられました。

■来場者からの質問・要望

興味・関心のあること	来場者の要望例
旅行先	東京、大阪、北海道、箱根、鎌倉、京都、奈良、中部、九州 立山黒部アルペンルート
日本の風景・文化・伝統	・富士山 ・雪 ・桜 ・日本の祭が見たい
食	・新鮮な寿司が食べたい ・ハラル対応のレストランの情報がほしい
アクティビティ	・ドライブがしたい（おすすめはどこか教えてほしい） ・温泉 ・買い物 ・アニメショーに行きたい

テーマパーク	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ディズニーランド ・サンリオピューロランド ・ジブリ美術館 ・藤子・F・不二雄美術館
--------	--

4. シンガポールからのさらなる誘客のために

2003 年に 9 万人ほどだったシンガポールからの訪日旅行者は年々増え続け、2010 年には 18 万人となりました。2011 年の震災の影響から 2011 年は 11 万人、2012 年は 14 万と減少しましたが、2013 年に過去最多となる 18 万 9,200 人を達成しました。天災・健康問題に非常に敏感なシンガポールからの訪日旅行者が震災前を超える水準となったことは大変喜ばしいことです。

Economist Intelligence Unit が実施した調査 (2014 Worldwide Cost of Living) でシンガポールは世界で最も生活費の高い都市であると発表されました (東京は第 6 位)。こちらで暮らしているとホテル、食品、洋服などの価格は日本よりも高く感じますが、シンガポール人の立場からは日本が価格的に気楽に旅行できる場所になりつつあります。日本は何度訪れても楽しめると感じているシンガポール人に新たな見どころや食の魅力を伝えていくことで、訪日シンガポール人はますます増加していくことでしょう。

当事務所では、今後も引き続き現地の最新情報を発信し、自治体の訪日旅行者誘致活動を支援してまいります。

5. NATAS Travel 2014 概要

会期	2014 年 2 月 28 日 (金) ~ 3 月 2 日 (日) 10:00~21:00
開催場所	Singapore Expo
主催	シンガポール旅行代理店協会 (NATAS)
対象	一般消費者
入場料	4 シンガポールドル
来場者数	54,275 人 (2013 年 2 月: 53,344 人)
会期中の旅行商品売上総額	8000 万シンガポールドル (2013 年 2 月: 8500 万~9000 万シンガポールドル)

(新山元所長補佐 東京都大田区派遣)

NATAS travel 2014【東北・仙台ブースにおける活動支援】

1. 概要

今回の NATAS travel 2014 (以下「NATAS」という。)でも、昨年に引き続き、東北・仙台ブース(仙台市及び東北観光推進機構による出展)において活動支援を行いました。

NATAS 開催日に先立ち、仙台市及び東北観光推進機構の職員がシンガポール国内旅行会社及び関係機関等を訪問のうえ、市場動向を調査するとともに、当ブースでは通常の東北地方観光案内に加えて、東北地方の観光に関するアンケート回答者や仙台観光コンベンション協会の facebook ページで「いいね」をクリックした方などを対象に東北地方の記念品を提供するなど、様々な方法で海外からの観光客誘致・ファンの獲得に努めました。

東北・仙台ブースは、ジャパンパビリオンの中心部に位置し、春の象徴である桜、東北を代表する夏風物詩の「ねぶた」(青森県)や「七夕祭り」(宮城県)の写真などが装飾され、写真を撮っていく方も多く、色鮮やかなデザインが人目を引き、多くの来場者に恵まれました。



多くの来場者で賑わう
「東北・仙台」ブースの様子

来場者からは、桜のベストシーズンと名所、おすすめ温泉、東北旅行のベストシーズン、郷土料理・名物についてなどの質問が寄せられ、出展者の説明に熱心に耳を傾けていました。

一方、北海道・東京・大阪・富士山などからの距離・移動時間やこれらの都市との違いについて質問を受けるなど、他地域に関連した(=他地域がメインであり東北・仙台はオプションといったような)問合せが寄せられることも多く、シンガポールにおける東北地方の認知度の低さが課題であることも感じました。

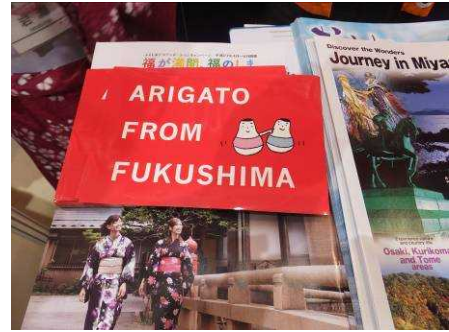
2. 所感

昨年8月に開催された NATAS Holiday 2013 の状況と比較すると、今回はあまり自然災害・放射能問題に関する質問・問合せも少なかったことから、東北地方に目を向けていただけるシンガポールの旅行者も少しずつ戻ってきている様子を窺うことができました。

東北・仙台ブースには日本旅行リピーターの中高年夫婦・女性グループ、また日本が好きで各地の温泉を巡っている若者が訪れ、熱心に東北地方の状況を質問されました。また、「猫の島」として有名な宮城県田代島についての案内を求める若者も複数いるなど、コアな日本ファンの方々は、日本の自然・味・人の魅力が凝縮されている東

北地方に深い関心を示しています。

東北地方はシンガポールでは経験することのできない桜、紅葉、雪、温泉といった自然素材や山海の幸である食材が豊富な地域であり、多くの東南アジアの人々を引きつける要素を持っている観光地です。震災から年月が経過し、風評被害が徐々に薄らいでいく中、海外からの観光客誘致を通じた「震災からの復興」のため、今後とも精力的に東北地方の魅力を情報発信していければと思います。



震災時の支援への感謝の気持ちを込めた「ARIGATO FROM FUKUSHIMA」ステッカー

(吉田元所長補佐 岩手県派遣)



NATAS travel 2014【新潟市ブースにおける活動支援】

1. 概要

2014 年 2 月 28 日（金）から 3 月 2 日（日）までの 3 日間、シンガポールの旅行フェア「NATAS Travel 2014」が開催されました。

CLAIR シンガポール事務所では、新潟市からの活動支援依頼に基づき、同旅行フェアにおける新潟市ブースに職員 1 名を派遣し、来場者への観光 PR 等の活動支援を実施しました。

2. 新潟ブースにおける観光 PR

今回、CLAIR が活動支援を行った新潟市ブースでは、新潟県との連携により、新潟市のほか県内全域の観光案内・PR が行われました。

新潟について、ブースを訪れた来場者の中には「米・酒・魚がおいしいところ」として認知している人もいましたが、観光地としては知名度が低いの

が現状であり、ほとんどの来場者から最初に出てくる質問は「新潟はどこにあるのですか?」といった内容のものでした。

新潟市ブースでは、まずは来場者に新潟を認知してもらうために、「新幹線で東京から 2 時間以内で行ける」というアクセスの良さを前面に打ち出して PR を実施しました。そうすることで、新潟という名前だけでは足を止めなかった人からも話を聞いていただくことができ、東京近郊で手軽に行ける観光地を探している方々から強い関心を持っていただくこともできました。そこから「新潟には何があるのですか?」「この時期に行く」と何ができますか?」といった、より具体的な問い合わせが寄せられ、新潟の豊富な食・自然・雪などの観光資源を PR することで、多くの来場者に興味を持ってもらうことができました。



観光情報を求めブースを訪れる来場者

3. 所感

今回新潟ブースを訪れた方の多くは、日本を何度か訪れたことがあり、北海道やゴールデンルートなど日本の主要な観光地以外の新しい目的地を探しているリピーターの方々でした。まずは新潟の知名度を向上させることも必要ですが、リピーターが多く、個人旅行が主流となっているシンガポールにおいては、新しい訪問先として新潟に誘客できる可能性も十分にあると感じました。

(関根所長補佐 新潟市派遣)